

# 2月の政治・経済イベント

## 重要 01 米国は3月利上げが既定路線も、経済指標の発表などには注意

米国では、3月にFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げに着手することが既定路線とみられています。ただし、利上げの幅や回数、バランスシート縮小の開始時期を巡っては、様々な憶測が飛び交っており、投資家は今後発表される経済統計などで、その幅や時期を確認することになりそうです。また直近の決算にて、一部企業の利益率の悪化が明るみとなったことで、企業業績や景気の先行きに対して不安が募る展開となっており、政策動向とともに企業業績にも注意を払う必要がありそうです。

## 重要 02 EU・英国間での対照的な金融政策

ECB（欧州中央銀行）は、昨年12月に量的緩和の縮小を決定しましたが、今年中に利上げに着手する可能性は依然として低く、ユーロも対米ドルでの下落が続いています。対してBOE（英中央銀行）は、インフレ圧力が恒常的になるとの見方から、今年前半にも追加利上げに踏み切る予定で、英ポンドの上昇要因となりそうです。今後も、ECBとBOEの対照的な政策動向に注目が集まります。

## 重要 03 日本ではオミクロン型の感染が急速に拡大

足元、日本では新型コロナウイルス・オミクロン型の感染が急拡大しています。オミクロン型は従来型と比較し、重症化リスクが低く、先行して感染が拡大した英国では短期間で感染がピークアウトするなど、短期収束の見込みも高いといえそうです。一方で、「行動制限措置の適用に伴う個人消費の冷え込み」や、「春節休暇・北京五輪の開催を控える中国など、海外での感染拡大による供給網の混乱」などといった、景気減速リスクも当然内包しており、国内外の感染動向には引き続き注意が必要です。

### 2月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(火)	中国 	春節（春節休暇は1月31日～2月6日）
1日(火)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数
3日(木)	英国 	金融政策発表
3日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
4～20日	中国 	北京2022冬季五輪
4日(金)	米国 	雇用統計（1月）
10日(木)	米国 	消費者物価指数（1月）
15日(火)	日本 	10-12月期GDP（1次速報値）
16日(水)	米国 	小売売上高、鋳工業生産指数（1月）
25日(金)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター（1月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。  
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。